

# 『JMAM eラーニングライブラリ』と『Generalist/LM<sup>®</sup>』の進化が生み出す新しい学習スタイル／グローバルモバイルラーニング

「全 122 コースが定額で 1 年間、学び放題」が好評の『JMAM eラーニングライブラリ』（以下、ライブラリ）。「スマホ・タブレット端末対応」「多言語化対応」と進化を続け、社会人の学びにグローバルモバイルラーニングという新しいスタイルを提示している。ここでは『ライブラリ』の進化とそのシステムと運用を支える東芝ソリューションの『Generalist/LM<sup>®</sup>』の進化を紹介し、グローバルモバイルラーニングの今を伝える。



岩崎淳氏  
株式会社日本能率協会マネジメントセンター  
e-ラーニング事業本部  
システム開発推進部  
部長



本間秀一氏  
株式会社日本能率協会マネジメントセンター  
e-ラーニング事業本部  
システム開発推進部  
主任



小原秀史氏  
東芝ソリューション株式会社  
製造・産業・社会インフラソリューション事業部  
HRMソリューション部  
Generalistソリューション第三担当

## 『ライブラリ』誕生前夜

2010年のサービス開始以来、僅か3年で導入社数が900社を超えた株式会社日本能率協会マネジメントセンター（以下、JMAM）の『ライブラリ』。手軽に何度でも学べるeラーニングの良さを最大限に生かしたサービス設定に加え、アニメーションや実写映像を多用して難しい内容もわかりやすく説明する教材の良さ、そしてコストパフォーマンスの高さから導入社数を伸ばし続けている。

『ライブラリ』以前の同社のeラーニングサービスは、2001年からスタートした。当時はコース単位での販売と、企業ごとのニーズに合わせたカスタマイズコースの販売がサービスの中心

で、通信教育等と同じビジネススキームだった。

その仕組みを見直したのは2008年のこと。同社が提供するeラーニングの全コースから、好きなコースを定額で好きなだけ学べる仕組みを作れないか、まるで図書館から本を選ぶように自由に学習できる仕組みを作れないかという模索が始まった。それが実現すれば導入企業数と受講者数が飛躍的に増加することが予想される。そのため、同時にシステムインフラの見直しも必要だった。

「実は当時システムインフラの安定性に問題があり、多数の受講者が一度にアクセスすると極端に動作が遅くなってしまう状況でした。そのため大口顧客には営業しにくいという問題も発生していました」(JMAM／岩

崎氏)

「そこで複数のシステムインテグレーターの提案を受けて安定した当社自前のシステム構築も検討したのですが、コスト面などで実現は難しいと見送りになりました」(JMAM／本間氏)

2009年JMAMは再度複数のシステムインテグレーターの提案を集めて『ライブラリ』実現に向けた検討に入った。その中の1社が、東芝ソリューションだった。

## JMAMが『Generalist/LM<sup>®</sup>』を選んだ3つのポイント

JMAMがシステムインテグレーターに求めていたのは、次の3点だ。  
・数百人単位の受講者が一度にアクセスしてもシステムがダウンしない安定性

- ・定額での学び放題を実現するために、イニシャルコストだけでなく、ランニングコストも抑制できる仕組み
- ・ユーザー企業の利便性に第一に考えた短納期での導入に対応でき、その後の運用まで任せることができる企業

これに対して、東芝ソリューションが提案したのは、システム構築不要で使い勝手の良いSaaS型パッケージの『Generalist/LM<sup>®</sup>』。SaaS型のパッケージはソフトウェアをネットワーク経由で提供するため、ネットの接続環境さえあれば導入は容易である。また、サーバ管理やシステム運用管理が不要なためランニングコストを抑えやすい。『Generalist/LM<sup>®</sup>』は、東芝グループ内で10万人規模での稼働実績を持っていることも強みだ。また、JMAMの思いをくみ取り、短納期での導入を実現するためのノウハウを提示したことも評価された。

JMAMが求める3つのポイントに応え『ライブラリ』のシステムには『Generalist/LM<sup>®</sup>』が採用された。

### 本稼働までの時間との戦い

『ライブラリ』は、ユーザーの利便性を大幅に高めるための新しいサービスだ。当然、旧システムからのリプレイスは早いほどよい。2009年の9月から年内一杯で『Generalist/LM<sup>®</sup>』を導入し、2010年1月から『ライブラリ』のサービス開始が決まった。

「当社にとってBtoCモデルの大規模向けSaaS型プラットフォームのファーストユーザーがJMAM様でした。エンドユーザー様を意識して短期間で

### スマホ・タブレット対応コースの画面



導入しなければならなかったのでは、とにかく時間との戦いでした」(東芝ソリューション/小原氏)

東芝ソリューションは、工程管理するマネジャーはもちろん営業もエンジニアも一丸となってシステム導入に取り組んだ。JMAMも開発担当者を中心に総力を結集。こうして2009年12月、無事に『Generalist/LM<sup>®</sup>』導入を果たす。

『ライブラリ』はすぐにビジネスシーンから大きな注目を集め、導入社数は右肩上がりで伸びていった。受講者数も前サービス時代は3万人程度だったが、現在まで延べ20万人以上に膨れ上がっている。

「今は、1日あたり2,000～4,000アクセスありますが、もちろんシステムは何の問題もなく稼働しています」(東芝ソリューション/小原氏)

コンテンツ数も『ライブラリ』スタート時の80コースから、現在は122コースへと大幅に増えている。新コースが増えても追加料金はないので、ユーザーにとってはコース数が増えれば増



えるほど『ライブラリ』の魅力が増していく。そして、こうしたスケールアップも『Generalist/LM<sup>®</sup>』の柔軟性が支えている。

### さらに進化する『ライブラリ』と『Generalist/LM<sup>®</sup>』

2013年、ついに『ライブラリ』は「スマホ・タブレット端末対応」サービスをスタートさせた。これは“PCに捉

われず、いつでもどこでも学習したい”、“通勤などのすき間時間もうまく使いたい”といったユーザーの希望に応えたもの。『マネジメントの基本コース』のような人気のコース、および今後追加していく新コースは「スマホ・タブレット端末対応」となる。

「PC画面では見やすかったアニメーションや図表を、小さなスマホ・タブレットの画面でどう見せるかが難しいところでした。たとえば、受講者は空いている電車内では画面を横にして、混雑する時には画面を縦にして学習します。どちらの場合でも見やすい画面になるよう、自動的にレイアウトが切り替わる工夫が施されています」(JMAM／本間氏)

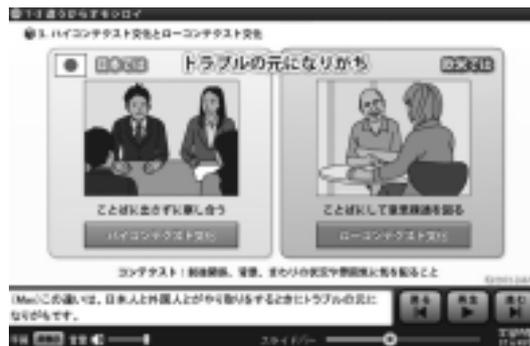
この縦・横のレイアウトが自動で切り替わる技術がeラーニングに活用されているのは、世界で初めてだという。「システム側としては、スマホやタブレットの機種による見え方の違いを失くす点に苦労しました」(東芝ソリューション／小原氏)

「皆で苦労して始めたスマホ・タブレット端末対応サービスですが、受講者からは早くも“スマホ対応だから学習できた”、“もっと対応コースを増やしてほしい”という嬉しい反応が返ってきています」(JMAM／岩崎氏)

このサービスは、管理者が一元管理できる点もポイント。たとえば、朝の通勤時にスマホで学習し、会社の昼休みにPCで学習して、帰りの電車で再びスマホで学習——といった受講状況でも、一元管理できる。人事・教育担当者には嬉しいポイントだ。

さらに、『ライブラリ』はグローバル化にも対応し始めた。1つは『グロー

## グローバル対応コースの例



バルコミュニケーション入門コース』で、日本人がグローバルコミュニケーションを学ぶ第一歩となる内容のコースを開講した。

そしてもう1つが既存のコースの多言語化。これは、日本企業で働く外国人ビジネスパーソンや海外の現地従業員、また生きたビジネス英語（または中国語）を学びたい日本人に最適なサービス。現在『マネジメントの基本コース』（英語版）、『電気の基礎コース』（英語版）、『IEによる現場マネジメント基本コース』（英語版、中国語版）がPC版で開講している。

「多言語化については『Generalist/LM<sup>®</sup>』は問題なく対応できます。むしろシステムそのものよりも、多言語化することで表示する文字数が変わるので、そちらの対応に手がかかる位です。また、当社は『ライブラリ』の運用も任せていただいていますので、ヘル

プデスクは日英語で対応可能。グローバル化にも万全な体制を整えています」(東芝ソリューション／小原氏)

「『ライブラリ』を進化させていけるのは、システムとしての『Generalist/LM<sup>®</sup>』の良さはもちろん、運用も含めた人的な対応力の高さのおかげだと思っています」(JMAM／岩崎氏)

サービスを進化させながら新しい学習スタイルを提示し続けるJMAMと、それを支える東芝ソリューション。人材育成の分野で両社のコラボレーションが生み出す新しい価値に、引き続き注目していきたい。

●お問い合わせ先  
東芝ソリューション株式会社  
〒183-8512  
東京都府中市片町3-22  
TEL : 042-340-6750  
E-mail : Generalist@toshiba-sol.co.jp  
URL : <http://Generalist.toshiba-sol.co.jp>  
[http://Generalist.toshiba-sol.co.jp/gene/package/kyoiku/index\\_j.htm](http://Generalist.toshiba-sol.co.jp/gene/package/kyoiku/index_j.htm)